

—ご存知ですか？—

地域の身近な相談相手



“民生委員・児童委員”



民生委員・児童委員は担当地区内の家庭を定期的に訪問するなど、住民とのパイプ役としての活動を行っています(写真右は匝瑳市民生委員・児童委員協議会長の向後英夫さん)。

少子化や核家族化によって地域のつながりが薄れる中、高齢者や障がいのある人、子育てや介護をしている人などが、周囲に相談できずに孤立してしまうケースが増えています。地域の身近な相談相手として、必要な支援を行うのが「民生委員・児童委員」の存在です。

■ **住民とのパイプ役として**
86人の委員が活動しています。

民生委員・児童委員は、地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めます。本市では、74人の民生委員・児童委員と、12人の主任児童委員(子ども)

「民生委員」とは？

民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、無報酬のボランティアとして住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行っています。今年で制度創設100周年を迎えました。

どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員)が、それぞれの担当区域で活動しています。

■ **プライバシーは守られます**
安心して相談してください。

「プライバシーが侵害される」「かまって欲しくない」と訪問を断る人もいます。民生委員・児童委員、主任児童委員には、法律による「守秘義務」があります。相談者の内容は守られますので、安心して相談してください。

■ **「近所の気になることも**
相談してください。

あなた自身のことでなくても、近所で「毎晩、怒鳴り声と子どもの泣き声がするけど虐待かもしれない」「〇〇さんの姿を見ないけれど心配だな」と感じたら、民生委

員・児童委員に相談してください。あなたの連絡によって、早期の対応が可能となります。

* * * * *

お住まいの地域を担当する民生委員・児童委員、主任児童委員は、市役所1階福祉課(☎73・0096)で紹介しています。お気軽にお問い合わせください。

永年勤続委員を表彰 100周年記念大会で

民生委員制度の創設100周年を記念した大会が7月9日、東京都内で開かれました。

この中で、長きにわたり民生委員・児童委員として活動をされた人に対する表彰が行われ、本市からは5人が表彰を受けました。被表彰者は次の通りです(敬称略)。

- 鷺塚 敏雄(八日市場イ)
- 須合 浩美(大浦)
- 佐藤真由美(東小笹)
- 鈴木 勇(高)
- 鈴木 正夫(椿)

丹精込めて育てた花苗を運び込む生徒



手作り園芸品を販売

八日市場特支が匝りの里で校外学習

そうさ観光物産センター匝りの里で6月20日、県立八日市場特別支援学校による園芸品などの販売会が開かれました。

これは、同校の園芸班が手掛けた花や木の苗、培養土を校外学習の一環として一般販売するもので、生徒たちは「いらっしゃいませ」と元気に声を出して、懸命に接客を行っていました。

当日は天候に恵まれたこともあり、会場周辺は多くの来場者でにぎわっていました。

中央4部、ポンプ車3連覇

海匝地区消防操法大会

第57回海匝支部消防操法大会が、千葉科学大学（銚子市）で6月25日に開かれ、匝瑳、銚子、旭の3市の消防団員が日ごろの訓練の成果を披露しました。

大会には、本市からポンプ車操法の部に中央分団第4部と同第1部が、小型ポンプ操法の部に同第5部と共興分団第1部が出場。中央4部が3年連続の最優秀賞に輝きました。上位の結果は次の通りです（敬称略。個人表彰は本市選手のみ）。

■ポンプ車操法の部（出場5か部）

最優秀賞…中央4部 優秀賞…中央1部 優良賞…旭市第1中隊第2分団第1部 【個人】指揮者…塩野谷憲吾（中央4部） 1番員…武内悠紘（中央1部）

■小型ポンプ操法の部（出場5か部）

最優秀賞…旭市第2中隊第6分団第3部 優秀賞…旭市第1



中央4部の演技の様子

中隊第3分団第3部 優良賞…中央5部 【個人】指揮者…亀岡健人（中央5部）

※中央4部は7月22日に県消防学校で開かれた県大会に出場し、全12か部中、第4位に入賞しました。

詐欺被害防止に警察感謝状

匝瑳警察署は6月27日、電話de詐欺を防いだとして、セブン-イレブン八日市場飯倉店の店員・大木美鈴さん（横芝光町）に署長感謝状を贈りました。

同署によると、大木さんは同月14日、60歳代女性から電子マネーの購入方法をたずねられて電話de詐欺を疑い、声掛けを実施。女性が自ら警察に通報したことで、被害の未然防止に貢献したということです。



萩原喜也署長（右）から感謝状を受け取る大木さん

“おもてなし”の気持ちを盛り上げ

東京五輪に向け海岸清掃キャンペーン

オリンピック・サーフィン競技に向けたおもてなしの機運を盛り上げようと、「海の日」に当たる7月17日、のさか望洋荘跡地南側の海岸で清掃活動が行われました。

この活動は7月から9月にかけて九十九里・外房地域の16市町村で行われるビーチクリーン・キャンペーンの一環で、この日は地元のサーフィン愛好家を中心におよそ110人が参加。照りつける太陽の下、参加者たちは額に汗を浮かべながらごみ袋を片手に海岸一帯を歩き、空き缶や瓶などを拾い集めました。



集めたごみを前に全員で集合

八日市場学園が海岸美化活動

活動の様子（同学園提供）



野手浜の海岸でこのほど、八日市場学園による海岸清掃活動が行われ、利用者ら約30人が1時間ほどかけて、ごみ袋約50袋分を回収しました。

同学園は、昨年度から市の“環境美化ボランティア制度”に参加し、公園などでの定期的なごみ拾いを実施しており、担当者は「これからも市内公共施設を中心に活動を続けていきたい」と話していました。